

学校だより



人権参観日



すぎな「世界の子どもたちに目を向けよう」

人権とは人を大切にし、自分を大切にすること。人権が守られるとは、ありのままの自分を受け止めてもらえ、人を受け止めること。そのためにはいろいろな人の立場や思いを知ること、思いやることが第一歩。参観授業では学年それぞれに人権課題について学んだり発表したりしました。

授業後のコンサートでは講師のう～みさんのお話と歌を楽しみました。大人も自分自身の子ども時代を思い出したり、子育てを振り返ったり、共感したりしながら学びを深めることができました。

進行や受付などを担ってくださったPTA人権研修部のみなさんをはじめ片付け等も保護者のみなさんのご協力をいただきました。ありがとうございました。



1年「きょうりよくしてえをかんせいさせよう！」



4年「世界の子どもたち」



2年「世界の子どもたちについて知ろう」



5年「人権仲間合宿での学びを発表しよう」



3年「みんなちがってみんないい」



6年「SDGS ってなんだろう？」

キリヨリ

返信 () 年 氏名 ()

人権講演会「ふれあいコンサート」

～こころとこころをつないで～をタイトルに、う～みさんが自分の生い立ちや生き様を子どもたちにわかりやすく話してくれました。子どもの頃の思いを話しながら、子どもたちに何度も問いかけ、子どもたちのどの答えも反応も受け止め、肯定してくれました。子どもたちにも大人にも胸に響くお話を聴くことができました。

コンサートの始めから
元気に反応する子どもたち！

う～みさんの子どもの頃の
体験談に共感の嵐！！大人も
共感！！

後ろに貼ってあるのは、友
だちへのほめ言葉の木です。
全学年で取り組んでいます。



コンサートの終わりには大勢の子どもたちがステージに上がり一緒に歌ったり、手拍子したり・・・。
う～みさんもビックリ！この日も「きらきら輝く赤岡っ子」たちの姿を見せてもらいました。



う～みさんから著書「サンナカ」をプレゼントしていただきました。
三人きょうだいの真ん中に生まれて、という意味だそうです。
コンサートでお話しされた内容も盛り込まれています。読んでみた
いは学校までお声がけください。

